

エコアクション21 環境経営レポート



レポートの対象期間

2024年4月～2025年3月

発行日：2025年6月10日



1. 計画の策定 (Plan)	
(1) 組織の概要 (事業者名、所在地、事業概要、事業規模など)	・・・ 3
(2) 対象範囲 (認証・登録範囲)、レポート対象期間及び発行日	・・・ 9
(3) 環境経営方針	・・・ 11
(4) 環境経営目標	・・・ 12
(5) 環境経営計画	・・・ 18
2. 計画の実施 (Do)	
(6) 環境経営計画に基づき実施した取組内容 (実施体制含む)	・・・ 22
3. 取組状況の確認及び評価 (Check)	
(7) 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組評価と評価 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	・・・ 25
(8) 環境関連法規などの遵守状況及び評価の結果、並びに 違反、訴訟などの有無	・・・ 33
4. 全体の評価と見直し	
(9) 代表者による全体の評価と見直し・指示	・・・ 35

(1) 組織の概要

1) 事業者名および代表者氏名

三和建商株式会社 代表取締役社長 妻形 慎也

2) 事業所名および所在地

本社 静岡市葵区流通センター 12 番 7 号
 沼津支店 沼津市高島本町 13 番 25 号
 藤枝営業所 藤枝市上青島 460-1
 中間処分場 静岡市葵区東 1034 番地の 1

3) 主な事業活動

解体工事業、土木工事業、アスベスト調査・除去、産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物
 中間処分業

4) 事業の規模

設立年月日 昭和 32 年 3 月 4 日

資本金 6,200 万円、売上額 2024 年度・30.7 億円（解体工事業 25.4 億円、産業廃棄物
 処分業 5.3 億円 20.9%）

従業員数 全社 95 人（本社 52 人、沼津支店 9 人、藤枝営業所 4 人、処分施設 25 人）

床面積 本社 819.3m²・倉庫 1,482.9m²、沼津支店 770.5m²、藤枝営業所 111.8m²、
 中間処分施設敷地 11,712.9m²

解体工事業：収集運搬量（自社運搬） 8,123.3t

中間処分業：収集運搬量（受託運搬） 12,594.2t 処分量 37,267.5t

5) 建設業および産業廃棄物収集運搬業（積替え保管行為を含む）に関する許可

静岡県知事許可 特定建設業	(特-3) 第 6091 号	R 8 年 7 月 5 日	土木工事業、建築工事業、とび・土工事業、鋼構造工事業、石工事業、 舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業
------------------	-------------------	------------------	--

< 産業廃棄物収集運搬業許可 >

※ 優良産廃処理業者認定を取得済みです。

地域	優良	許可番号	許可の年月日	許可の有効期限	許可品目
静岡県	認定	第 02201010962 号	R 3 年 7 月 17 日	R10 年 7 月 16 日	廃プラスチック類、木くず、 紙くず、繊維くず、ガ スくず・コンクリートくず及 び陶磁器くず、金属く ず、がれき類
神奈川県	認定	第 01403010962 号	R 4 年 3 月 28 日	R10 年 5 月 26 日	
三重県	認定	第 02400010962 号	R 3 年 11 月 8 日	R10 年 6 月 11 日	
山梨県	認定	第 01900010962 号	R 3 年 6 月 28 日	R10 年 6 月 27 日	
愛知県	認定	第 02300010962 号	R 3 年 9 月 16 日	R10 年 8 月 11 日	
岐阜県	認定	第 02100010962 号	R 4 年 1 月 5 日	R11 年 1 月 4 日	上記にゴムくず、水銀使 用産業廃棄物を含む。
静岡市	認定	第 06211010962 号	R 2 年 11 月 9 日	R 9 年 11 月 8 日	

<特別管理産業廃棄物収集運搬業許可>

静岡市	認定	第 06261010962 号	R 3 年 8 月 1 日	R10 年 7 月 31 日	特定有害廃石綿等(積替え保管行為を含む)
静岡県	認定	第 02251010962 号	R 3 年 7 月 17 日	R10 年 7 月 16 日	特定有害廃石綿等(積替え保管行為を除く)
愛知県	認定	第 02350010962 号	R 3 年 9 月 16 日	R10 年 8 月 11 日	
三重県	認定	第 02450010962 号	R 3 年 11 月 8 日	R10 年 6 月 11 日	

<産業廃棄物積替保管許可>

静岡市	認定	第 06211010962 号	R 2 年 11 月 9 日	R 9 年 11 月 8 日	石綿含有産業廃棄物
静岡市	認定	第 06261010962 号	R 3 年 8 月 1 日	R10 年 7 月 31 日	特定有害廃石綿等
静岡市	認定	第 06261010962 号	R 2 年 11 月 9 日	R 9 年 11 月 8 日	<u>水銀使用産業廃棄物</u>

保管面積：石綿含有産廃 40.50m²、特定有害廃石綿等 20.25m²

保管量：石綿含有産廃 16.08m³、特定有害廃石綿等 8.04m³、水銀使用産業廃棄物 0.5m³

<産業廃棄物処分業許可>

静岡市		第 06221010962 号	R 5 年 4 月 1 日	R 10 年 3 月 31 日	廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、燃え殻
-----	--	-----------------	---------------	-----------------	--

6) 環境管理責任者氏名および担当者連絡先

環境管理責任者 取締役執行役員工事担当 澤山 雅則

環境管理事務局 経営企画室 松下 和弘 連絡先 054-263-2030

7) 施設の状況(収集運搬車両の一覧)・・・合計32台

<解体工事業> 24台

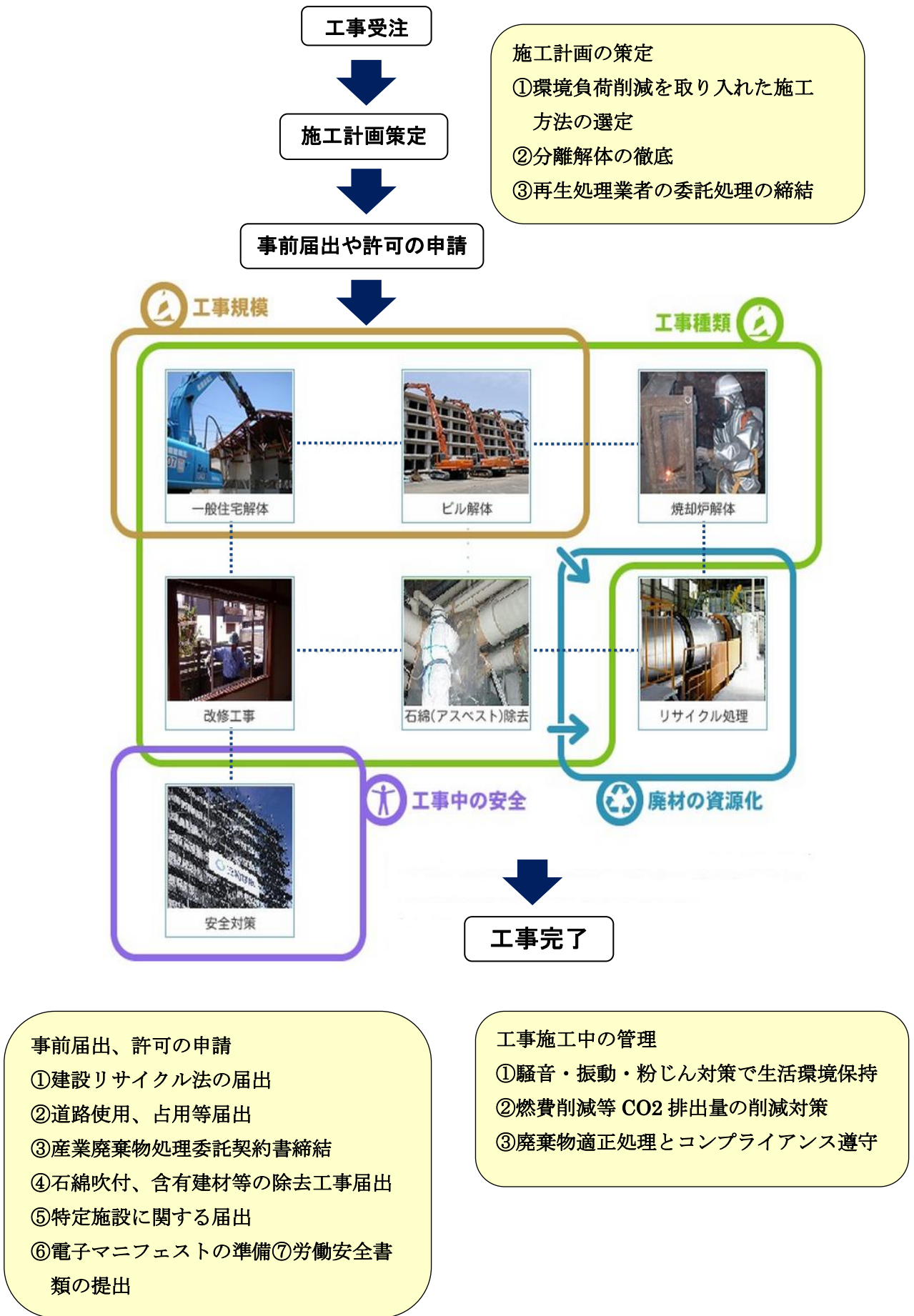
車両名	形式	積載量	車両名	形式	積載量
日野	キャブオーバ	2400kg	いすず	ダンプ	3000kg
いすず	キャブオーバ	2000kg	いすず	ダンプ	2000kg
日野	コンテナ専用車	2000kg	マツダ	ダンプ	3000kg
いすず	コンテナ専用車	3550kg	マツダ	バン 15台	350kg
いすず	コンテナ専用車	3550kg	マツダ	箱型	350kg

<中間処分業> 8台

車両名	形式	積載量	車両名	形式	積載量
日野	キャブオーバ 2台	3000kg	いすず	コンテナ専用車	3750kg
いすず	キャブオーバ	2550kg	いすず	コンテナ専用車 2台	3000kg

日野	コンテナ専用車	3700kg	いすゞ	コンテナ専用車	3900kg
----	---------	--------	-----	---------	--------

8) 事業活動（解体工事業務）のフロー



9) 中間処分施設状況

<処理施設>

施設の種類の	産業廃棄物の種類	処理能力
破砕施設①	がれき類	480.0t/日
破砕施設②	廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 (破砕施設③での中間処理後物に限る)	36.55t/日
破砕施設③	廃プラスチック類、木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類	36.55t/日
破砕施設④	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	159.6t/日
焼却施設	木くず、紙くず	4.0t/日
焼成施設	木くず、紙くず、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、燃え殻	9.5t~52.8/日

10) 処理実績 2024年4月1日~2025年3月31日

<収集運搬実績> ※ 解体工事業(自社運搬)、中間処分業(受託運搬)の合計

産業廃棄物の種類	収集運搬実績 t
がれき類	5,709.0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	659.9
木くず	2,604.4
廃プラスチック類	3,456.1
紙くず	214.8
繊維くず	2.8
金属くず	801.3
混合廃棄物	4,827.6
石膏ボード	2,168.0
石綿含有建材・廃石綿	273.6
合計	20,717.5

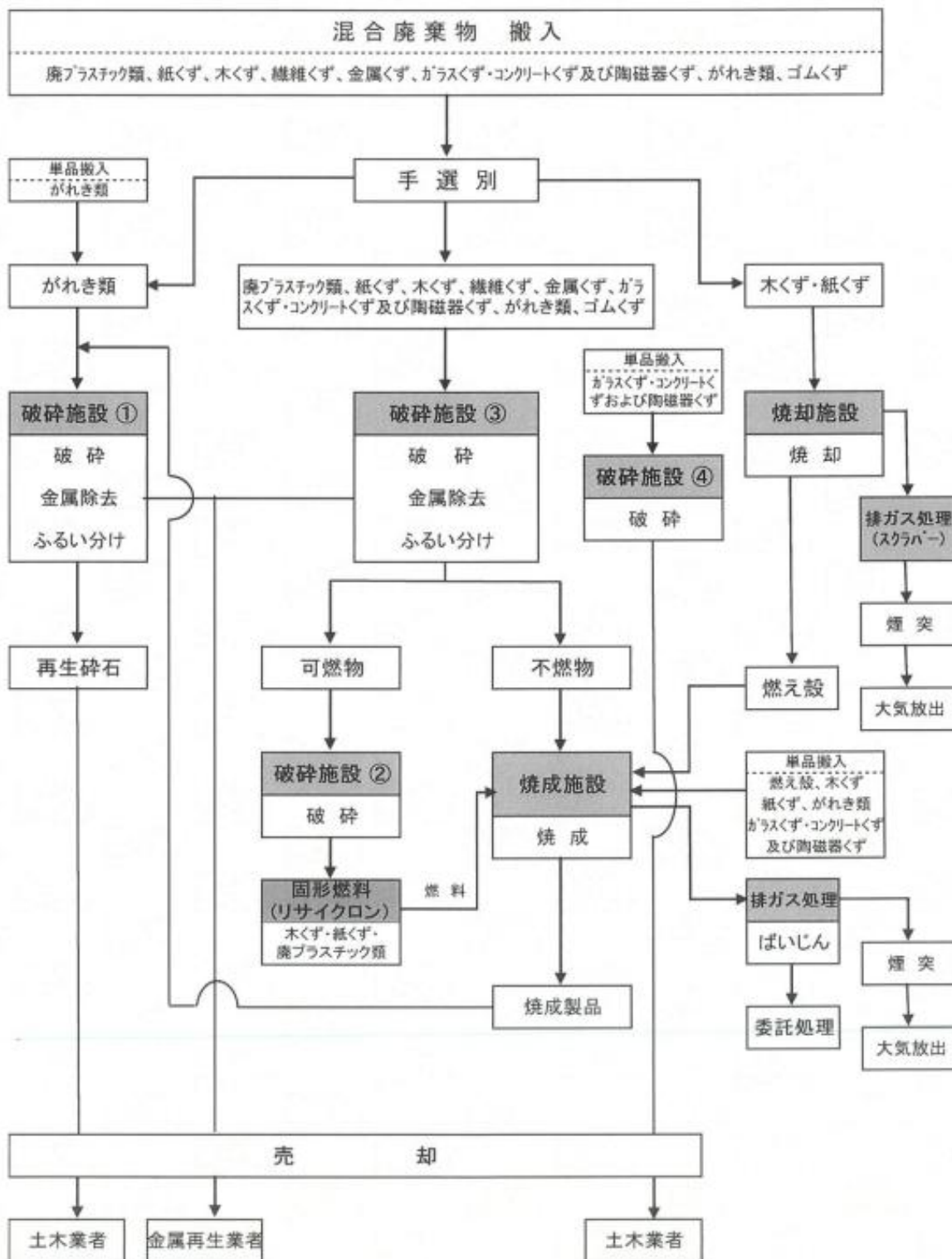
<中間処分実績>

産業廃棄物の種類	中間処分実績 t	処分方法	再資源実績 t
がれき類	28,146.7	破砕後 路盤材用	27,127.2
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1,767.5	破砕後 盛土資材	374.8
木くず	976.2	破砕後 チップ化	976.2
廃プラスチック類	1,391.0	破砕後 燃料化	1,271.9
紙くず	75.5	破砕後 燃料化	75.5
繊維くず	7.8	破砕後 燃料化	7.8
金属くず	411.9	原料化	411.9
混合廃棄物	1,701.2	破砕後 原料再利用	1,602.2
石膏ボード	2,789.7	焼成後 土木資材	2,789.7
合計	37,267.5		34,637.2

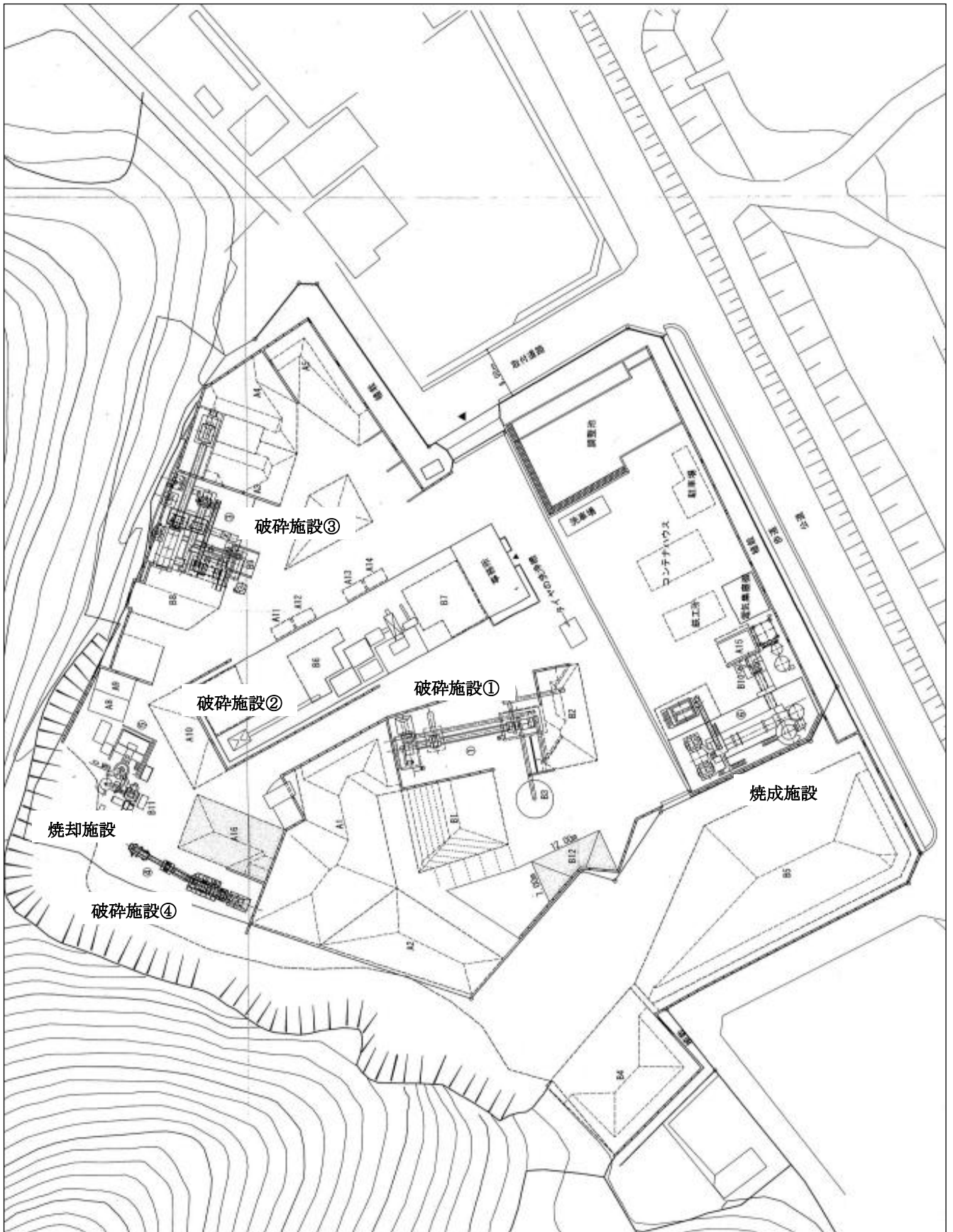
<施設内使用重機ほか>

車両・重機種類	最大積載重量	台数	備考
フォークリフト	2.5~3.0t	5	構内車両
ショベル（ホイール式）	0.9~1.7m ³	4	
車両系建設機械	0.45m ³ 以下	5	
	0.7m ³	4	

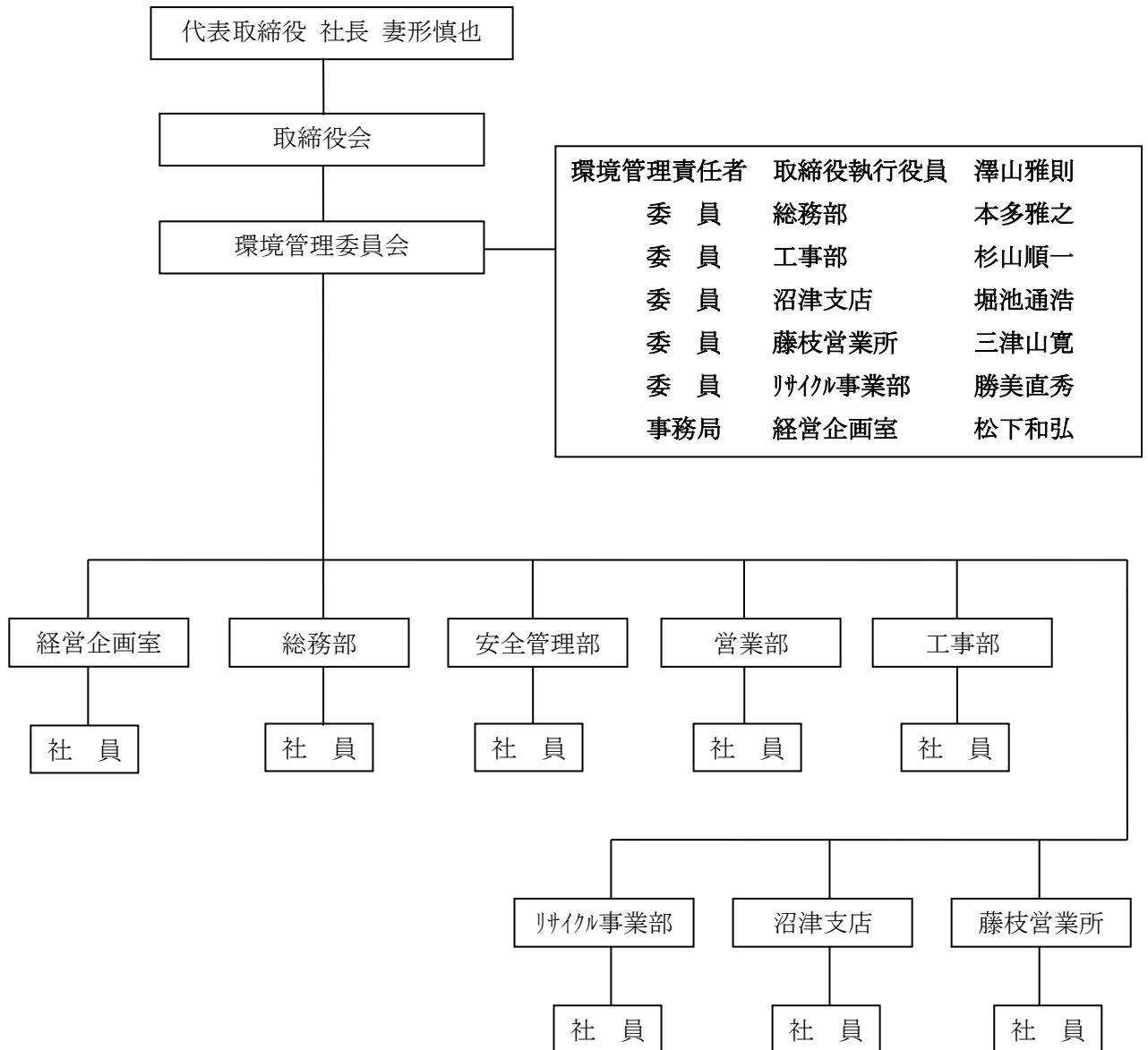
11) 産業廃棄物処理フロー図



12) 産業廃棄物処理設備配置図



(2) 対象範囲 (実施体制)



○ 対象の範囲は、本社、沼津支店、藤枝営業所及び中間処分場とします。

1) 役割と責任・権限

代表者の権限

- ① 代表者として環境経営全般に関して責任と権限を持ちます。
- ② 環境経営方針を承認し、周知します。
- ③ 資源（人・もの・金）の決定権を有します。
- ④ 定期的にエコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施します。
- ⑤ 環境管理責任者、環境管理委員等を任命します。
- ⑥ 経営における課題とチャンス进行明確化します。
- ⑦ 効果的で十分な実施体制の構築、全社員へ周知させます。

環境管理責任者の権限
<ul style="list-style-type: none"> ① エコアクション 21 の要求事項を満たす環境経営システムを確立、実施かつ維持し、実績の向上をはかります。 ② 上記結果を代表者による見直しのための資料を作成し報告します。 ③ エコアクション 21 文書類の承認、決裁をします。 ④ 環境管理委員会の委員長として環境保全活動全般の舵取り、事項推進します。 ⑤ 資源（人・もの・金）の承認をします。 ⑥ 環境管理委員、部署責任者を指名します。 ⑦ 社外からの苦情などの環境管理情報を受理、記録します。 ⑧ その他環境経営システムの確立、実施、維持および管理に関し必要な業務をします。 ⑨ 環境経営方針に従い各部署（部門）からの要求を満たすように教育計画を立案します。
環境管理委員会の権限
<ul style="list-style-type: none"> ① 環境経営方針の作成、見直しをします。 ② 環境経営システムの運用管理に必要な人的資源、技能などの準備をします。 ③ エコアクション 21 の進捗管理をし、是正、予防措置が必要な場合は見直しをします。
環境管理委員会事務局
<ul style="list-style-type: none"> ① 環境管理委員会で協議検討された内容を取りまとめ、記録を作成し、保管します。 ② 社内、社外の環境関連事項の連絡、報告などを取りまとめます。
各部署長の権限
<ul style="list-style-type: none"> ① 自部署（部門）の環境負荷を抽出し、環境負荷の評価を行い、最新版に維持します。 ② 自部署（部門）の環境目標、環境経営計画の作成と実施結果を記録します。 ③ 自部署（部門）の環境教育訓練、緊急事態の想定演習を実施し、記録します。
全社員の役割
<ul style="list-style-type: none"> ① 各部署長の下、環境目標、環境経営計画の実施に努めます。 ② 各部署長の下、省資源、省エネおよび節水に努めます。 ③ 各部署長の下、環境教育訓練、緊急事態の想定演習を実施します。

- 環境管理委員会は、年間 2 回以上開催し環境経営計画の取り組みを評価し、取組の計画表を作成、取りまとめます。

(3) 環境経営方針

環境経営方針

1. 建築物、構造物の解体工事や土木建築工事および産業廃棄物の収集運搬・中間処分などの事業活動における全ての業務について環境影響を評価し、環境負荷の低減を図るとともに事務所や周辺地域の生活環境および地球環境の保全に努めます。
2. 事務所と工事現場の事業活動別に、消費電力や燃料などのエネルギー使用量を減量することで二酸化炭素排出量を削減します。また、廃棄物の排出量の減量とグリーン商品の購入を促進するなど、省エネルギー・省資源推進に努めます。

【事務所】

- 1) 時間外労働を減らすことで、照明や冷暖房などの消費電力を削減します。
- 2) 社内文書や事務文書のカラーコピーを自粛し、使用電力量を削減します。
- 3) 車両の燃費向上を促進し、二酸化炭素排出量を削減します。
- 4) 事業活動による一般廃棄物の排出量を削減します。

【工事現場】

- 1) 重機や車両等の省エネ機種への変更を促進するとともに、停車時のアイドリングストップに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- 2) 重機等の過度な負荷運転の抑制と無駄な作業を減らし、燃費低減で二酸化炭素排出量を削減します。
- 3) 分別解体で廃棄物の再利用を推進し、最終処分の委託処理を減らします。

【中間処分場】

- 1) 工場内使用重機、収集運搬車両、営業車の省エネ運転に努めます。
 - 2) 工場内設備での灯油及び軽油の使用量削減に努めます。
 - 3) 排出する産業廃棄物削減のため、廃棄物の再利用化に努めます。
 - 4) 環境対策、飛散防止施設の管理を徹底し、必要に応じ修繕追加に努めます
3. 「自己チェックリスト」を用いて環境影響を評価し、環境目的を定め、取組結果を定期的に見直すことで継続的な環境経営システムの改善に努めます。
 4. 環境法規則などや地域社会との協定および同意事項を順守します。
 5. 全従業員に対して環境経営方針を周知徹底し、かつ環境教育を実施して環境保全に関する意識の向上を図ります。
 6. 環境経営レポートは一般に公開します。

制定 2011年10月 5日

改定3回 2023年 9月 1日

三和建商株式会社
代表取締役社長 妻形 慎也



(4) 環境経営目標

○ 解体工事業 本社、沼津支店、藤枝営業所ごとの目標数値

- 1) 中期目標：新たに2021年度を基準年度とし、2022年・2023年・2024年度の目標値を設定します。「二酸化炭素排出量の削減」、「水使用量の削減」および「廃棄物排出量の削減」は基準年度の実績より2024年度までに3.0%減らします。
- 2) 短期目標：2024年度目標値と実績は、基準年度2021年度の実績と比較し-3.0%の削減を達成できたかを確認します。

本社・項目	単位	2021年度 実績	目標値					
			2022年度	%	2023年度	%	2024年度	%
購入電力	kwh	68306.0	67622.9	-1	66939.9	-2	66256.8	-3
化石燃料	リッター	40139.1	39737.7	-1	39336.3	-2	38934.9	-3
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	124533.3	123288.0	-1	122042.6	-2	120797.3	-3
総排水量	m3	573.0	567.3	-1	561.5	-2	555.8	-3
一般廃棄物排出量	kg	699.0	692.0	-1	685.0	-2	678.0	-3
産業廃棄物排出量	t	20263.8	20061.2	-1	19858.5	-2	19655.9	-3
グリーン購入(文具)	円	387,000	387,840	+1	394,740	+2	398,610	+3

沼津支店・項目	単位	2021年度 実績	目標値					
			2022年度	%	2023年度	%	2024年度	%
購入電力	kwh	13973.0	13833.3	-1	13693.5	-2	13553.8	-3
化石燃料	リッター	7756.7	7679.1	-1	7601.6	-2	7524.0	-3
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	24194.4	23952.5	-1	23710.5	-2	23468.6	-3
総排水量	m3	116.0	114.8	-1	113.7	-2	112.5	-3
一般廃棄物排出量	kg	203.0	201.0	-1	198.9	-2	196.9	-3
産業廃棄物排出量	t	564.3	558.7	-1	553.0	-2	547.4	-3
グリーン購入(文具)	円	174,000	175,740	+1	177,480	+2	179,220	+3

藤枝営業所・項目	単位	2021年度 実績	目標値					
			2022年度	%	2023年度	%	2024年度	%
購入電力	kwh	11560.0	11434.5	-1	11328.8	-2	11213.2	-3
化石燃料	リッター	3663.4	3626.8	-1	3590.1	-2	3553.5	-3
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	13397.8	13263.8	-1	13129.8	-2	12995.9	-3
総排水量	m3	82.0	81.2	-1	80.4	-2	79.5	-3
一般廃棄物排出量	kg	188.0	186.1	-1	184.2	-2	182.4	-3
産業廃棄物排出量	t	5459.1	5404.5	-1	5349.9	-2	5295.3	-3
グリーン購入(文具)	円	144,000	145,440	+1	146,880	+2	148,320	+3

- ※1 基準年度の2021年度は、中部電力ミライズの2021年度・実排出係数の0.449 kg-CO₂/kwh、東京電力エナジーパートナー排出係数0.451 kg-CO₂/kwhを用いました。
- ※2 解体工事で排出した産業廃棄物は100%リサイクルを目標とする中間処理施設に委託し、最終処分に依存する廃棄物処理量を削減します。
- 3) 長期目標：2021年度の実績値を基に、中期目標から更に3年後の2025年度から2027年度の3年間の目標値を設定します。「二酸化炭素排出量の削減」、「水使用量の削減」および「廃棄物排出量の削減」は各年度1.0%削減し、2027年度ではトータル6.0%を削減します。

本社・項目	単位	2021年度 実績値	目標値					
			2025年度	%	2026年度	%	2027年度	%
購入電力	kwh	68306.0	65573.8	-4	64890.7	-5	64207.6	-6
化石燃料	リッター	40139.1	38533.5	-4	38132.1	-5	37730.8	-6
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	124533.3	119552.0	-4	118306.6	-5	117061.3	-6
総排水量	m ³	573.0	550.0	-4	544.4	-5	538.6	-6
一般廃棄物排出量	kg	699.0	671.0	-4	664.0	-5	657.0	-6
産業廃棄物排出量	t	20263.8	19453.2	-4	19250.6	-5	19048.0	-6
グリーン購入(文具)	円	387,000	402,480	+4	406,350	+5	410,220	+6

沼津支店・項目	単位	2021年度 実測値	目標値					
			2025年度	%	2026年度	%	2027年度	%
購入電力	kwh	13973.0	13414.1	-4	13274.4	-5	13134.6	-6
化石燃料	リッター	7756.7	7446.4	-4	7368.9	-5	7291.3	-6
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	24194.4	23226.6	-4	22984.7	-5	22742.7	-6
総排水量	m ³	116.0	111.4	-4	110.2	-5	109.0	-6
一般廃棄物排出量	kg	203.0	194.9	-4	192.9	-5	190.8	-6
産業廃棄物排出量	t	564.3	541.7	-4	536.1	-5	530.4	-6
グリーン購入(文具)	円	174,000	180,960	+4	182,700	+5	184,440	+6

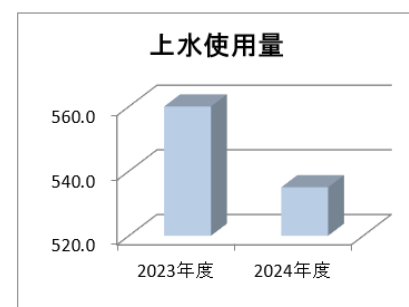
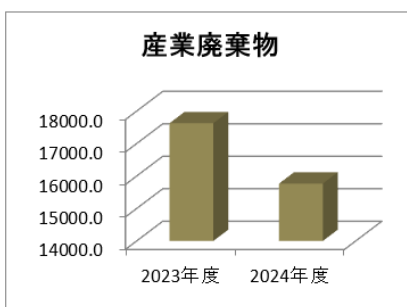
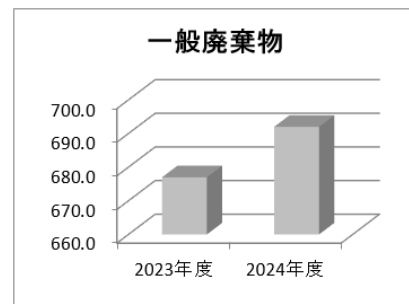
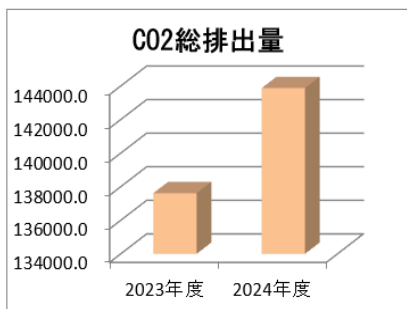
藤枝営業所・項目	単位	2021年度 実測値	目標値					
			2025年度	%	2026年度	%	2027年度	%
購入電力	kwh	11560.0	11097.6	-4	10982.0	-5	10866.4	-6
化石燃料	リッター	3663.4	3516.9	-4	3480.2	-5	3443.6	-6
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	13397.8	12861.9	-4	12727.9	-5	12593.9	-6
総排水量	m ³	82.0	78.7	-4	77.9	-5	77.1	-6
一般廃棄物排出量	kg	188.0	180.5	-4	178.6	-5	176.7	-6
産業廃棄物排出量	t	5459.1	5240.7	-4	5186.1	-5	5131.6	-6
グリーン購入(文具)	円	144,000	149,760	+4	151,200	+5	152,640	+6

4) 環境負荷の実績

○ 2023年度と2024年度の環境負荷実績の比較結果（年度は4月1日～翌年3月31日）

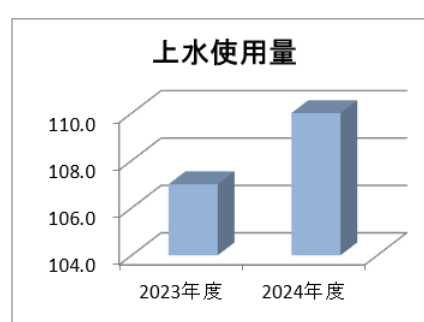
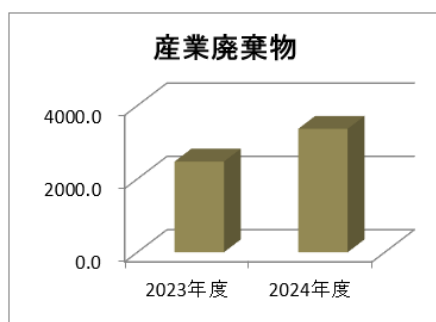
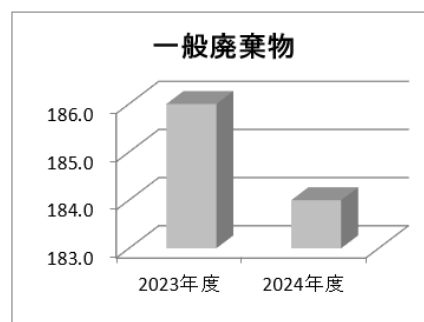
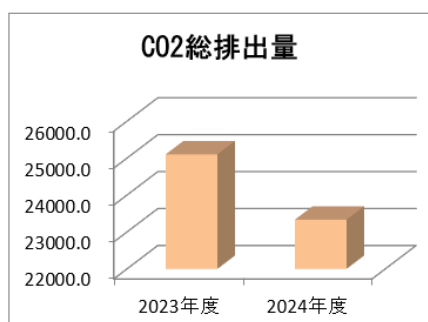
< 本社 >

項目		単位	2023年度	2024年度	前年差	備考
エネルギー	購入電力	kwh	71,525.0	72,040.0	515.0	
	都市ガス	Nm3	51.5	42.1	▲9.4	
	ガソリン	リッター	32,406.0	27,041.8	▲5,364.2	
	軽油	リッター	11,707.2	18,875.0	7,167.8	運搬車両・重機等
	C02総排出量	kgC02	137,612.8	143,871.3	6,258.5	
一般廃棄物	コピー用紙他	kg	287.0	285.0	▲2.0	
	段ボール	kg	215.0	223.0	8.0	
	古紙・新聞等	kg	112.0	111.0	▲1.0	書類シュレッター-含む
	缶・ビン	kg	63.0	73.0	10.0	
	合計		677.0	692.0	15.0	
産業廃棄物	がれき類	t	14,759.4	10,564.9	▲4,194.5	
	ガラス・陶磁器くず	t	429.7	490.1	70.4	
	木くず	t	774.4	1,414.9	640.5	
	廃プラスチック類	t	253.6	673.7	420.1	
	紙・金属・繊維	t	190.5	308.7	118.2	
	混合廃棄物	t	467.5	1,157.9	690.4	
	石膏ボード	t	478.0	973.5	495.5	
	石綿含有建材	t	269.0	180.7	▲88.3	
	その他廃材	t	10.5	4.4	▲6.1	廃石綿・汚泥他
	合計		17,632.6	15,768.8	▲1,863.8	
上水使用量	m3	560.0	535.0	▲25.0		



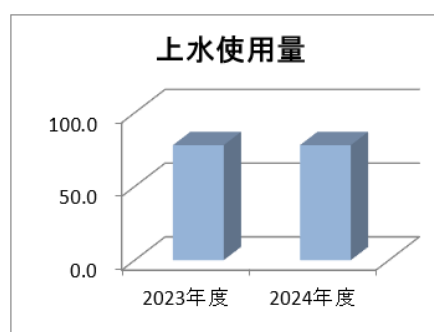
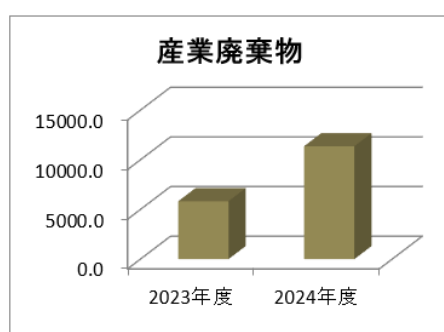
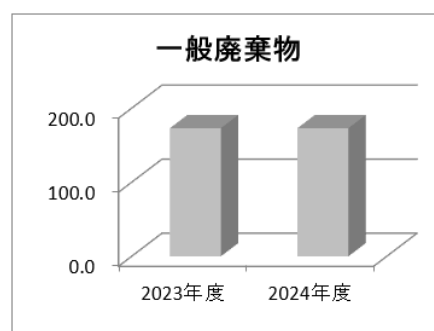
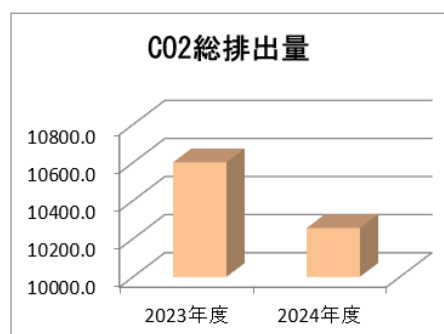
〈沼津支店〉

項目		単位	2023年度	2024年度	前年差	備考
エネルギー	購入電力	kwh	14,138.0	14,162.0	24.0	
	LPGガス	kg	22.0	22.0	0.0	
	ガソリン	リッター	8,051.4	7,284.0	▲767.4	
	軽油	リッター	0.0	0.0	0.0	
	CO2総排出量	kgCO2	25,103.0	23,333.5	▲1,769.5	
一般廃棄物	コピー用紙他	kg	85.0	80.0	▲5.0	
	段ボール	kg	67.0	67.0	0.0	
	古紙・新聞等	kg	0.0	0.0	0.0	書類シュレッダー含む
	缶・ビン	kg	34.0	37.0	3.0	
	合計		186.0	184.0	▲2.0	
産業廃棄物	がれき類	t	1,663.6	2,250.0	586.4	
	ガラス・陶磁器くず	t	12.8	102.8	90.0	
	木くず	t	220.7	97.9	▲122.8	
	廃プラスチック類	t	481.8	422.2	▲59.6	
	紙・金属・繊維	t	8.0	20.7	12.7	
	混合廃棄物	t	26.0	216.4	190.4	
	石膏ボード	t	44.6	248.2	203.6	
	石綿含有建材	t	12.6	7.1	▲5.5	
	その他廃材	t	3.3	0.9	▲2.4	廃石綿等
	合計		2,473.4	3,366.2	892.8	
上水使用量	m3	107.0	110.0	3.0		



<藤枝営業所>

項目		単位	2023年度	2024年度	前年差	備考
エネルギー	購入電力	kwh	10,634.0	11,139.0	505.0	
	LPGガス	kg	0.0	0.0	0.0	
	ガソリン	リッター	2,511.5	2,264.9	▲246.6	
	軽油	リッター	0.0	0.0	0.0	
	CO2総排出量	kgCO2	10,601.4	10,256.0	▲345.4	
一般廃棄物	コピー用紙他	kg	78.0	76.0	▲2.0	
	段ボール	kg	63.0	65.0	2.0	
	古紙・新聞等	kg	0.0	0.0	0.0	書類シュレッダー含む
	缶・ビン	kg	32.0	32.0	0.0	
	合計		173.0	173.0	0.0	
産業廃棄物	がれき類	t	4,998.6	9,760.7	4,762.1	
	ガラス・陶磁器くず	t	104.3	148.5	44.2	
	木くず	t	178.8	407.4	228.6	
	廃プラスチック類	t	88.3	158.3	70.0	
	紙・金属・繊維	t	72.7	130.7	58.0	
	混合廃棄物	t	72.1	287.7	215.6	
	石膏ボード	t	206.0	307.2	101.2	
	石綿含有建材	t	95.2	163.3	68.1	
	その他廃材	t	10.9	0.0	▲10.9	廃石綿等
	合計		5,826.9	11,363.8	5,536.9	
	上水使用量	m3	78.0	78.0	0.0	



○ 中間処分業の目標数値

- 1) 中期目標： 前年度の 2023 年度実績を基準年度とし、2024 年・2025 年・2026 年度の目標値を設定します。削減は基準年度の実績より 2024 年度-0.6%、2026 年度までに-0.8%にする計画です。
- 2) 短期目標： 2023 年度実績を基準とし 2024 年度は-0.6%の削減を短期目標とします。

<中期目標>

本社・項目	単位	2023 年度 実績	目標値					
			2024 年度	%	2025 年度	%	2026 年度	%
購入電力	kwh	1260727.0	1253162.6	-0.6	1251901.9	-0.7	1250641.2	-0.8
化石燃料（ガソリン他）	リッター	147050.7	146168.4	-0.6	146021.3	-0.7	145874.3	-0.8
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	943245.9	937586.4	-0.6	936643.2	-0.7	935699.9	-0.8
総排水量	m3	5421.0	5388.5	-0.6	5383.1	-0.7	5377.6	-0.8
一般廃棄物排出量	kg	809.0	804.1	-0.6	803.3	-0.7	802.5	-0.8
産業廃棄物処理量	t	49862.3	49563.1	-0.6	49513.3	-0.7	49463.4	-0.8

- 3) 長期目標： 2023 年度の実績値を基に、中期目標から更に 3 年後の 2029 年度までの 3 年間の目標値を設定します。各年度 0.1%削減し、2029 年度で-1.1%の削減を目標とします。

<長期目標>

本社・項目	単位	2023 年度 実績	目標値					
			2027 年度	%	2028 年度	%	2029 年度	%
購入電力	kwh	1260727.0	1249380.5	-0.9	1248119.7	-1.0	1246859.0	-1.1
化石燃料（ガソリン他）	リッター	147050.7	145727.2	-0.9	145580.2	-1.0	145433.1	-1.1
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	943245.9	934756.7	-0.9	933813.4	-1.0	932870.2	-1.1
総排水量	m3	5421.0	5372.2	-0.9	5366.8	-1.0	5361.4	-1.1
一般廃棄物排出量	kg	809.0	801.7	-0.9	800.9	-1.0	800.1	-1.1
産業廃棄物処理量	t	19862.3	19703.4	-0.9	19663.7	-1.0	19643.8	-1.1

(5) 環境経営計画

2024年度 環境活動計画スケジュール 解体工事業

環境負荷項目	負荷場所	責任者	環境活動の内容	2024年												2025年			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
二酸化炭素排出量	化石燃料	事務所	各部署長	運行経路管理で燃費減															
				燃費記録で自己啓発															
				不要車両の廃止															
		工事現場	工事部長	重機整備とエコ運転															
				重機車両アイドルリングストップ															
				負荷低減チェックリストの運用															
	購入電力	事務所	総務部長	クール・ウォームヒースの取組	2	0	2												
				離席場所の消灯	3														
				ノー残業日運用の徹底	年度の実績と目標達成状況及び取組状況														
				カラーコピー原則禁止	2024年度の環境活動計画の策定														
工事現場	工事部長	工事部長	未使用機器のコンセント引抜																
			器具の点検整備の徹底																
			負荷低減チェックリストの運用																
			取組状況の確認と把握																
廃棄物排出量	紙・古紙 その他	事務所	総務部長	両面コピーで用紙削減															
				会議のペーパーレスの実施															
				グループウェアで資料削減															
	産業廃棄物	工事現場	工事部長	分別解体で再生率向上															
				再生処理委託が原則															
				負荷低減施工への取組															
蛍光灯適正処理の徹底																			
水使用量	事務所	総務部長	ストップで洗車水の低減																
			節水器具で節水促進																
	工事現場	工事部長	散水シャワーの水量調整																
			車タイヤ洗浄水の調整																
			負荷低減チェックリストの運用																
			瓦投下時のシューターの活用																
環境教育の実施	全従業員	各部署長	毎月開催する各部会																
			年2回の全社員研修	社員研修															
			関連部署の緊急訓練																
			現場パトロールの点検等																
文書・資料作成・記録管理	環境管理委員会	環境管理責任者	環境管理委員会の実施																
			各部署の取組状況確認																
			目標・活動計画の作成																
			協力業者への導入推進																
EA21 導入推進																			

2025 年度 環境活動計画スケジュール 解体工事業

環境負荷項目	負荷場所	責任者	環境活動の内容	2025 年												2026 年			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
二酸化炭素排出量	化石燃料	事務所	各部署長	運行経路管理で燃費減															
				燃費記録で自己啓発															
				不要車両の廃止															
		工事現場	工事部長	重機整備とエコ運転															
				重機車両アイドリングストップ															
				負荷低減チェックリストの運用															
	購入電力	事務所	総務部長	ケル・ウォームビズ の取組															
				離席場所の消灯															
				ノー残業日運用の徹底															
		工事現場	工事部長	カラーコピー原則禁止															
未使用機器のコンセント引抜																			
器具の点検整備の徹底																			
廃棄物排出量	紙・古紙 その他	事務所	総務部長	負荷低減チェックリストの運用															
				両面コピーで用紙削減															
				会議のペーパーレスの実施															
	産業廃棄物	工事現場	工事部長	グループウェアで資料削減															
				分別解体で再生率向上															
				再生処理委託が原則															
				負荷低減施工への取組															
	水使用量	事務所	総務部長	蛍光灯適正処理の徹底															
				ストップで洗車水の低減															
	環境教育の実施	全従業員	各部署長	節水コマ器具で節水促進															
散水シャワーの水量調整																			
車タイヤ洗浄水の調整																			
負荷低減チェックリストの運用																			
瓦投下時のシューターの活用																			
文書・資料作成・記録管理	環境管理委員会	環境管理責任者	毎月開催する各部会																
			年 2 回の全社員研修																
			関連部署の緊急訓練																
			現場パトロールの点検等																
EA21 導入推進	環境管理委員会	環境管理責任者	環境管理委員会の実施																
			各部署の取組状況確認																
EA21 導入推進	環境管理委員会	環境管理責任者	目標・活動計画の作成																
			協力業者への導入推進																

2024 年度 環境活動計画スケジュール 中間処分業

環境負荷項目	負荷場所	責任者	環境活動の内容	2024 年												2025 年																		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																			
二酸化炭素排出量	化石燃料	事務所 営業課長	運行経路管理で燃費減																															
			燃費データで自己啓発																															
		処理施設 工場長	エコ運転の周知徹底																															
			重機車両アイドリングストップ																															
	車両整備点検の継続		←-----→																															
	購入電力	事務所 営業課長	ケル・ウォームビズ の取組	2023																														
			離席場所の消灯	2023																														
		処理施設 工場長	設備稼働時間の管理	2023年度の実績と目標達成状況及び取組状況	2024年度の環境活動計画の策定	取組状況の確認と把握																												
器具の点検整備の徹底																																		
事務所 営業課長	紙・古紙 その他	事務所 営業課長	両面コピーで用紙削減																	2023年度の実績と目標達成状況及び取組状況	2024年度の環境活動計画の策定	取組状況の確認と把握												
	会議のペーパーレスの実施																																	
産業廃棄物	処理施設 工場長	工場長	廃材選別で再生率向上	2023年度の実績と目標達成状況及び取組状況	2024年度の環境活動計画の策定	取組状況の確認と把握																												
			固形燃料化と利用推進																															
			委託先リサイクルの確保																←-----→															
			再生砕石品質向上維持																															
水使用量	事務所 営業課長	営業課長	節水表示の掲示																															
			節水器具で節水促進																															
	処理施設 工場長	工場長	調整池散水の散水活用																															
			設備の水漏れ点検																															
環境コミュニケーションの実施	事務所 営業課長	騒音・振動の自主点検																																
	処理施設 工場長	測定データの情報公開	←-----→																															
		工場見学の随時受入																																
環境教育の実施	事務所 営業課長	部会の毎月開催	社員研修																															
	処理施設 工場長	年2回の全社員研修	社員研修																															
		関連部署の緊急訓練	緊急訓練																															
文書・資料作成・記録管理	環境管理委員会	環境管理責任者	環境管理委員会の実施						委員会									委員会																
			各部署の取組状況確認																															
			目標・活動計画の作成																															
			協力業者への導入推進	←-----→																														
EA21 導入推進																																		

2025 年度 環境活動計画スケジュール 中間処分業

環境負荷項目	負荷場所	責任者	環境活動の内容	2025 年												2026 年			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
二酸化炭素排出量	化石燃料	事務所 営業課長	運行経路管理で燃費減																
			燃費データで自己啓発																
		処理施設 工場長	エコ運転の周知徹底																
			重機車両アイドリングストップ																
	車両整備点検の継続		←-----→																
	購入電力	事務所 営業課長	ケル・ウォームビズ の取組																
			離席場所の消灯																
		処理施設 工場長	設備稼働時間の管理																
器具の点検整備の徹底																			
廃棄物排出量	紙・古紙 その他	事務所 営業課長	両面コピーで用紙削減																
			会議のペーパーレスの実施																
			グループウェアで資料削減																
	産業廃棄物	処理施設 工場長	廃材選別で再生率向上																
			固形燃料化と利用推進																
			委託先リサイクルの確保	←-----→															
			再生砕石品質向上維持																
	水使用量	事務所 営業課長	節水表示の掲示																
節水器具の節水促進																			
処理施設 工場長		調整池散水の散水活用																	
		設備の水漏れ点検																	
環境コミュニケーションの実施	事務所 営業課長	騒音・振動の自主点検																	
	処理施設 工場長	測定データの情報公開	←-----→																
		工場見学の随時受入																	
環境教育の実施	事務所 営業課長	部会の毎月開催																	
	処理施設 工場長	年 2 回の全社員研修																	
		関連部署の緊急訓練																	
文書・資料作成・記録管理	環境管理委員会	環境管理責任者	環境管理委員会の実施																
			各部署の取組状況確認																
			目標・活動計画の作成																
			協力業者への導入推進	←-----→															
EA21 導入推進																			

(6) 実施した取組内容

1) 「二酸化炭素排出量の削減」「廃棄物排出量の削減」「水使用量の削減」は 2021 年度を基準に 2024 年度までに 3.0%の削減を目標とします。

環境負荷項目	負荷場所	取組の内容	
二酸化炭素排出量の削減	事務所	顧客訪問ルートを検討し無駄な走行を控え燃費削減に努めます。	
		駐車や停車時のアイドリングストップを心がけます。	
		運転月報に燃費を記載し、燃費削減への自覚を促します。	
		車両の利用頻度を整理し、無駄な車両を廃止します。	
		車両買換計画を策定し、低燃費車両・エコカーに買い換えます。	
		温水器の種火をこまめに切るなど、ガスの消費量を削減します。	
	工事現場	車両、重機のアイドリングストップを心がけます。	
		重機使用前点検で燃費に係る部品・機器を整備し燃費削減に努めます。	
		重機の過度な負荷運転の抑制と無駄な作業を減し燃費を削減します。	
		重機作業は主たる用途以外には使用しないよう管理します。	
		重機買換時はハイブリッドショベルの導入を検討し削減します。	
		発電機や散水ポプ等の休憩時間の運転や無駄な運転を無くします。	
		暗室照明機を発電機から蓄電池 LED 照明に変え燃費削減を図ります。	
		環境負荷チェックリストを運用し化石燃料等の削減意識を高めます。	
	中間処分場	収集運搬・営業車両のエコドライブの周知徹底をします。	
		収集運搬ルートの効率化（運搬距離の縮小）で燃費を削減します。	
		日常点検や車両整備を徹底し燃費削減に努めます。	
		作業重機のアイドリングストップを徹底します。	
	電気使用量の削減	事務所	クールウィズ、ウォームビズを実施し消費電力を抑えます。
			昼休みや離席社員の照明の消灯を徹底し消費電力を削減します。
社内文書は原則カラーコピーは禁止し消費電力の低減に努めます。			
「早く帰ろう・ノー残業」で勤務時間を短縮し消費電力を削減します			
LED 蛍光灯照明器具の変更を推進し、消費電力の削減を図ります。			
工事現場		使用しない機器の電源コードをコンセントから引抜きます。	
		機器の日常点検で不良部品を整備し消費電力を低減させます。	
		蓄電池 LED 照明は夜間充電し電力と経費を削減します。	
		環境負荷チェックリストを運用し消費電力の削減意識を高めます。	
中間処分場		クールウィズ、ウォームビズを実施し消費電力を抑えます。	
		こまめな点検で不要な照明の消灯を徹底します。	
		照明の LED 化を計画し買い替えなど促進します。	
			処理設備の稼働時間を管理し、消費電力の削減に努めます。

廃棄物排出量の削減	事務所	書類は原則両面コピーとし紙の廃棄物処理量を削減します。	
		コピーの裏面利用ため不必要となった用紙の保管を徹底します。	
		グループウェアを活用しペーパーレスに努め廃棄量を減らします。	
	工事現場	分別解体に取り組み廃棄物の最終処分委託処理を減らします。	
		廃棄物再生処理施設に搬入し、廃棄物の循環再資源化を推進します	
		排出する廃棄物を再生材として自ら利用する施工計画を検討します	
		再生材を別の工事現場での使用を働きかける等利用推進に努めます	
	中間処分場	リサイクル率向上を目指した二次委託先ルートを確認します。	
		受入れた産業廃棄物の分別を徹底し再利用による減量に努めます。	
		産業廃棄物固形燃料の製造を増やし、再資源化を促進させます。	
			がれき類の再生砕石販売量を増やし、リサイクルを推進します。
	水使用量の削減	事務所	ホース先端にストッパー器具を装着するなど節水に努めます。
日ごろから、手洗いや洗い物では節水を意識し使用量を減らします。			
工事現場		作業手順の調整で粉じん飛散防止用散水の水量低減を図ります。	
		車両出入り時のタイヤ洗浄では、用水の出っぱなしに注意します	
		住宅屋根の瓦降ろしの際、シューターを使用し粉じんを抑え、散水の水を削減します。	
中間処分場		節水の表示や蛇口などに節水コマを設置し節水に推進します。	
		場内の散水には調整池の水を利用するなど対応します。	
		定期的に設備配管など点検し、水漏れなど確認、対応します。	
グリーン購入の推奨		事務所	文房具など新規購入ではグリーン製品の購入に努めます。
	営業車両など車両更新ではグリーン車両(エコカー)を選定購入します		
環境コミュニケーションの実施(信頼向上の取組み)	中間処分場	騒音・振動の自主測定を実施し、周辺環境負荷の現状把握に努めます	
		接続道路などの定期的な清掃を継続し、周辺環境に配慮します。	
		工場見学、住民等の視察など随時受け入れに対応します。	
		防塵マスク、保護メガネの着用徹底など職員の健康管理に努めます。	

2) 社員への環境教育の状況

中間処分業の合併から1年を経過し、業務全体を通じた環境活動計画の実施状況や環境経営目標の達成状況など確認するとともに、全社員が環境方針を理解し、積極的な環境活動計画の実施のため、環境教育を継続しています。

- 4月及び11月に開催する社員研修会で必要に応じ、全社員に環境目標、環境活動計画を説明し周知するなど環境教育に努めています。
- 毎月第4水曜日に社長、役員を含む各部署の管理職で構成される安全衛生委員会役員会を開催し、必要に応じ環境活動計画の取り組み状況など報告確認しています。



4月社員研修会の教育訓練

- 必要に応じて、工事部会等で工事担当者、職長を集め環境活動計画で決定した活動項目について書面等で連絡する環境教育を実施しています。
- 5月～10月の期間「現場の熱中症防止対策期間」には、当日の熱中症発症の危険度を携帯メールで発信し、発症防止対策及び発症時の対応、基本ルールの徹底を注意喚起しています。
- 静岡市道路整備サポータの認定を受けて制度に協力しており引き続き、毎週火曜日に本社周辺市道の一斉清掃を実施しています。
- 毎月第3水曜日の定期安全パトロールと年2回の事業主（役員）パトロールを実施し、環境負荷低減の取り組み状況を確認し工事管理及び安全管理を評価しています。
- 毎年、9月に防災訓練を実施し、火災や災害などの緊急時に対応するために、本社在籍社員を対象に防火訓練を実施しています。また、工事現場など防火訓練に参加が困難な社員には携帯メールで防災関連サイトを活用した、安否確認情報の発信を要請しており、災害時の自身の状態など報告するよう、基本ルールの徹底を教育しています。



工事部役員会での教育訓練



2024年6月周辺市道路清掃活動



2024年9月防災訓練状況

<中間処分場>

- 毎月リサイクル事業部会を開催し、社員全員に社内外の情報共有、安全管理指導及び意見交換の場を設けています。必要に応じ、環境活動計画の活動項目、環境目標について説明し理解を得る環境教育を実施しています。
- 中間処分施設の搬入路から市道路接続道路周辺の清掃を実施し施設への搬入車両タイヤによる路面の汚れを清掃、車両通行による粉じんの発生、周囲への拡散の防止に努めています。
- 5月～10月の「現場の熱中症防止対策期間」には、当日の熱中症発症の危険度情報を確認、必要に応じ作業時間1時間おきに休憩を取り、水分・塩分補給を行うよう努めています。また、職員がお互い顔色、体調の変化など異変の有無を確認するよう指導しています。
- 受け入れる産業廃棄物を手作業でのピッキング時や、粉じん飛散が顕著な作業環境では、防塵マスクの着用を徹底しています。



2024年10月社員教育の状況



ピッキング時防塵マスク着用

(7) 取組結果とその評価

○ 2024 年度実績の評価 解体工事業

- 1) 2021 年度基準と 2024 年度実績の比率を算出し、短期目標で定めた 2024 年度目標値 -3.0%の達成に向けて環境活動計画の取り組みを評価します。

【本社】

実績÷目標値-100%

本社・項目	単位	2021 年度 基準	2024 年度 実績	目標値		実績率 %	評価
				2024 年度	%		
購入電力	kwh	68306.0	72040.0	66256.8	-3	+8.7	未達 ×
化石燃料（軽油含む）	リッター	40139.1	45916.8	38934.9	-3	+17.9	未達 ×
都市ガス	m3	52.4	42.1	50.8	-3	-17.1	達成 ○
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	124533.3	143871.3	120797.3	-3	+19.1	未達 ×
総排水量	m3	573.0	535.0	555.8	-3	-3.7	達成 ○
一般廃棄物排出量	kg	699.0	692.0	678.0	-3	+2.1	未達 ×
産業廃棄物排出量	t	20263.8	15768.8	19655.9	-3	-19.8	達成 ○
グリーン購入（文具）	円	384,000	450,000	398,610	+3	+13.5	達成 ○

【沼津支店】

沼津支店・項目	単位	2021 年度 基準	2024 年度 実績	目標値		実績率 %	評価
				2024 年度	%		
購入電力	kwh	13973.0	14162.0	13553.8	-3	+4.5	未達 ×
化石燃料（ガソリン）	リッター	7756.7	7284.0	7524.0	-3	-3.2	達成 ○
都市ガス	m3	17.0	22.0	16.5	-3	+33.3	未達 ×
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	24149.4	23333.5	23468.6	-3	-0.6	未達 ×
総排水量	m3	116.0	110.0	112.5	-3	-2.2	未達 ×
一般廃棄物排出量	kg	203.0	184.0	196.9	-3	-6.5	達成 ○
産業廃棄物排出量	t	564.3	3366.2	547.4	-3	6.15 倍	未達 ×
グリーン購入（文具）	円	174,000	185,000	179,220	+3	+3.2	達成 ○

【藤枝営業所】

項目	単位	2021 年度 基準	2024 年度 実績	目標値		実績率 %	評価
				2024 年度	%		
購入電力	kwh	11550.0	11139.0	11213.2	-3	-0.7	達成 ○
化石燃料（ガソリン）	リッター	3663.4	2264.9	3553.5	-3	-36.3	達成 ○
都市ガス	m3	0.7	0.0	0.7	-3	0.0	達成 ○
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	13397.8	10256.0	12995.9	-3	-21.1	達成 ○
総排水量	m3	82.0	78.0	79.5	-3	-1.9	達成 ○
一般廃棄物排出量	kg	188.0	173.0	182.4	-3	-5.2	達成 ○
産業廃棄物排出量	t	5459.1	11363.8	5295.3	-3	2.15 倍	未達 ×
グリーン購入（文具）	円	144,000	156,000	148,320	+3	+5.2	達成 ○

【全体総計比較】

項目	単位	2021 年度	2024 年度	目標値		実績率	評価
		基準	実績	2024 年度	%	%	
購入電力	kwh	93829.0	97341.0	95864.1	-3	+1.5	未達 ×
化石燃料（軽油含む）	リッター	51559.2	55465.7	50012.4	-3	+10.9	未達 ×
都市ガス	m3	70.1	64.1	68.0	-3	-5.7	達成 ○
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	162080.5	177460.8	157218.1	-3	+12.9	未達 ×
総排水量	m3	771.0	723.0	747.9	-3	-3.3	達成 ○
一般廃棄物排出量	kg	1090.0	1049.0	1057.3	-3	-0.8	未達 ×
産業廃棄物排出量	t	26287.2	30498.8	25498.6	-3	+19.6	未達 ×
グリーン購入（文具）	円	702,000	791,000	723,060	+3	+9.4	達成 ○

（総評）

- 本社、沼津支店の「二酸化炭素排出量の削減」が 12.9%の増加と 2023 年度と同様に未達となった原因は、「購入電力」が 8.7%と 4.5%の増加及び本社の「化石燃料」17.9%の増加が大きいです。ガソリン消費量が未達の要因は、2021 年度に比べ工事受注量の増加による、営業、工事車両の走行距離が増えガソリン消費量が増加したと考えられます。
- 「産業廃棄物排出量」の 19.6%の増加は、沼津支店 6.15 倍、藤枝営業所 2.15 倍に対し、排出量が多い本社が-19.8%と減少し、総合計量が低下したためと考えられます。

（事務所）

- 本社、沼津支店の「購入電力」が未達となった要因は、照明設備を LED 蛍光灯に買い替えるなど対策を実施した 2021 年基準年度としており、更なる電力削減には事務所屋根などに太陽光パネルを設置し昼間の電力を確保する計画を社内協議したいと思えます。
- 事務所での残業時間の削減に努めるとともに、週休 2 日制の導入など取組むことで電力消費の削減効果を高めることも検討すべきと感じます。

（工事現場）

- 沼津支店の「産業廃棄物排出量」が 6.15 倍と大幅な増加となった要因には、2021 年度実績 564.3t の基準量が少ないことが揚げられ、2025 年度のレポートから基準年度を 2023 年度実績に変更します。
- 2024 年度もコンクリートガラ等の多量排出による環境負荷の低減のため、破砕処理で再生砕石に再利用するリサイクル率 100%を達成する中間処理施設に委託処理することで、リサイクル率 100%に取り組んでいます。
- 2024 年度も営業社員車両、工事社員車両の入替購入時にはグリーン車両を購入し、ガソリン消費の削減による二酸化炭素排出量の低減に努めています。

- 2) 売上金額の増減で変動する「産業廃棄物排出量」について、基準年度 2021 年度売上額と 2024 年度売上額の比率を基に補正した「実績率」を算出し目標値と比較します。

2021 年度・24 億 3700 万円	2024 年度・25 億 4000 万円	2024 年度は 4.2%の増額
----------------------	----------------------	------------------

- 2024 年度の実績率としては、2021 年度に比べ 4.2%の増額となり「産業廃棄物排出量」など増加が想定されましたが、「全体総計の比較表」の 34,627.4t は 2021 年度 26,287.2t、の 31.7%の増加となり、売上額の増加率に比べ大幅増加となりました。
要因は、大型工事の受注が本社、藤枝営業所に複数あり、コンクリートガラ等の多量排出時期が 2024 年度に大幅増となったことが要因と思われます。

○ 2024 年度実績の評価 中間処分業

- 3) 2023 年度基準と 2024 年度実績の比率を算出し、短期目標で定めた 2024 年度目標値 -0.6%の達成に向けて環境活動計画の取り組みを評価します

項目	単位	2023 年度 基準	2024 年度 実績	目標値		実績率	評価
				2024 年度	%	%	
購入電力	kwh	1260727.0	1208989.0	1253162.6	-0.6	-3.6	達成 ○
化石燃料（ガソリン他）	リッター	147050.7	141794.8	146168.4	-0.6	-3.0	達成 ○
二酸化炭素総排出量	Kg-CO2	943245.9	906548.3	937586.4	-0.6	-3.3	達成 ○
総排水量	m3	5421.0	5435.0	5388.5	-0.6	+0.9	未達 ×
一般廃棄物排出量	kg	809.0	795.0	804.1	-0.6	-1.1	達成 ○
産業廃棄物処理量	t	49862.3	37267.9	49563.1	-0.6	-24.8	達成 ○

（総評）

- 合併から 2 年が経過した 2024 年度は適切な産業廃棄物保管量の維持のため、処理設備能力に応じた産業廃棄物の適切な受入れ量の維持、委託先の確保及び委託処理量の管理を継続しています。また、産業廃棄物処理量が -24.8%と減少した要因は、処理量が多量となるコンクリートガラを受入を調整したことが主因と考えられます。調整の理由は、再生材の再生砕石 RC-40 の販売量が低迷し、原料であるコンクリートガラを受入を調整したと思われます。
- 購入電力が -3.6%、化石燃料が -3.0%と削減でき、二酸化炭素総排出量が -3.3%と削減に繋がりましたが、2023 年度と比較し産業廃棄物処理量が -24.8%と減少し、処理設備稼働時間の削減などが原因の一つと考えられます。

4) 2024 年度の環境負荷低減取組の状況

（事業所）

- 本社の社員通用口、階段の照明及び 2 階通路に人感センサ機能付 LED 照明を設置、自動点灯・消灯による消し忘れを無くし消費電力の削減を継続しています。
- 本社、支店、営業所の厨房食器洗い場に節水用蛇口を設置し、上水使用量の削減を継続しています。

(工事現場)

- 建屋内装材撤去作業では、産業廃棄物の分別収集を徹底しています。
- 躯体解体作業時の粉じん飛散防止散水を十分に行い、周辺地域への拡散防止を徹底しています。コンクリートガラの小割破碎時には散水用スプリンクラーなど設置し、作業環境の改善と粉じんの飛散防止に努めています。
- 施工で使用する重機はハイブリッド重機などの使用頻度を高めており、稼働時間が多く消耗が激しい重機は新車に買い替えるなど、化石燃料の削減に取り組んでいます。

(中間処分場)

- 受入れた産業廃棄物を処理前にピッキングし、リサイクル可能な物や廃棄物の種類別に仕分けて再資源化及び減量化に努めています。
- 各処理設備の能力に応じた産業廃棄物の受入れ量の適正化に努め、過剰保管を防止するため処理後廃棄物の二次委託処理など適切な管理体制を継続しています。
- 2024年7月から工場棟内で稼働するフォークリフトをバッテリー駆動のEV車両に買い替え、化石燃料の消費を減らすことで二酸化炭素排出量の削減に努めています。
- 工場棟屋内照明をLED照明に買い替え、消費電力の削減し二酸化炭素移出量の低減に努め、今後、事務所内照明など順次LED照明に買い替えを計画しています。



EV フォークリフト及びバッテリー充電

工場棟屋内 LED 照明買い替え

5) 2025 年度に進める環境経営計画

(工事現場)

- 夏場の工事現場で多発する熱中症の防止対策に空調服を職員に配布しており、2025 年度も対策防止を推進します。
工事管理事務所には製氷機、冷蔵庫及び熱中症対策キットを配置するなど熱中症対策を強化するとともに、職員がお互いの体調確認に努め重篤な災害防止に努めています。
- 工事現場の暗部区域では、化石燃料発電機の照明装置は二酸化炭素の排出や一酸化炭素中毒事故の危険性が懸念されるため、蓄電池使用 LED 照明装置を工事現場に配置使用することを継続します。
- 2025 年度も引き続き、住宅等の屋根瓦を撤去作業でシューターの使用を継続し、瓦投下時の粉じん飛散と騒音の防止、飛散防止用散水量の削減および作業員の無理な体勢での落下防止を図ります。
- 本社倉庫内に設置した「石綿含有廃棄物」の積替え保管区域の利用では、作業時にヘルメット及び防塵マスクの着用による石



熱中症対策キットの配置



本社倉庫内の保管施設状

綿粉じんのばく露防止対策など不徹底な状況が見られることから、2025 年度も同様に積替え作業時での安全対策の徹底を注意喚起し、作業状態を確認、管理していきます。

(中間処分場)

- 2024 年度と同様、産業廃棄物の過剰保管の防止のため、処理設備能力に応じた受入量の適正化に努め、処理後廃棄物の二次委託処理など適切な管理体制を継続します。
- 各処理設備の「運転操作マニュアル」の作成を完了させ、各処理設備の運転担当者以外の職員にも操作手順など習得させることで人材育成を図ります。
- 「運転操作マニュアル」の理解を深め、環境負荷の低減に繋がる作業手法や装置の改善などについて部会などで意見交換し、環境負荷の低減対策について検証します。
- 各処理設備の稼働時に起きる、巻き込み・挟まれ・切断などの事故を防ぐため、想定する事故発生区域に進入防止策などの安全対策を設置しました。
- 2024 年同様、設備の消費電力削減を目的に、各設備の運転管理の見直しを検討します。「焼成施設」の排ガス処理設備「電気集塵装置」は故障や修繕が多く稼働時間が減少するため定期的な運転停止の可能性を検討し、消費電力の低減化の検証を継続します。



排ガス設備の電気集塵機



バグフィルターと急冷塔



排ガス誘引ファン

- 焼却や焼成設備では 8 時間運転終了後でも排ガス誘引ファンは 24 時間運転しており、稼働時間の低減方法について調査検討し、電力の消費削減の対策など検証を継続します。

6) 取組について、次の 3 段階で評価をしました。

- ・・・既に取り組んでおり効果が認められるもの
- △・・・ある程度取り組んでいるが、さらに取り組みが必要なもの
- ×・・・まだ、取り組んでいないもの

(事務所)

取組内容	2023 年実績	2024 年実績	評価	2025 年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減	○	○	一部が未達成ですが、取り組みについて全体的に社員の意識改革が進んできました。	引き続き継続し、新たな取り組みを含め 2023 年度は未達成の項目を無くします。
車両の無駄な走行を削減する運行経路計画の実施	○	○	運行経路の計画の策定と管理は担当者の意識改革が進み効果が認められます。	運行計画を策定し、燃料の無駄な消費を減らします。
アイドリングストップを心掛けます	○	○	駐車時のアイドリングストップ、ほぼ達成しました。	取り組みを継続します。
月報の燃費記入で燃費を自覚させる	○	○	低燃費への自覚に繋がり職員の記入もれは改善されました。	全社員が記入するよう引き続き指示し確認します。

車利用頻度の把握で車両削減します	○	○	引き続き1台/年間の車両の削減に取り組めます。	引き続き削減に取り組みます。
エコカーの買換購入を推進します	○	○	営業車両3台をグリーン法対応車に買い替えました。	引き続き法対応車の購入に取り組めます。
クール・ウォームビズに取組ます	○	○	6月からクールビズ、12月からウォームビズを実施しました。	取り組みを継続します。
離席者の照明の消灯を徹底します	○	○	スイッチに消灯ステッカーを掲示し消灯を徹底できました。	職員の離席範囲の消灯など取り組みを継続します。
早く帰ろう・ノー残業デーで時間外勤務を削減します	○	○	毎週水曜日に戻し取組への理解を求めた結果、効果が現れ始めました。	引き続き取り組みを継続し、時間外勤務の削減について理解、周知させます。
社内文書カラーコピーを禁止します	○	○	社内文書のカラーコピー廃止はほぼ達成できました。	社内文書については完全廃止を徹底させます。
温水器種火消火でガスを削減します	○	○	温水器未使用時の種火消火に心がけています。	種火の消火について引き続き取り組みます。
室内照明をLED照明に買替えます	○	○	沼津支店新築時にLED照明に買換えました。	引き続き取り組み、二酸化炭素排出量削減に努めます。
廃棄物排出量の削減	○	○	目標達成は高いものの取組を強化したいと思います。	取り組みを継続し、目標の達成に努力します。
両面コピーで廃棄物量を削減します	○	○	書類や参考資料の作成には両面コピーの実施を徹底します。	継続し廃棄物量を減らします。
不要・失敗コピー裏面使用をします	○	○	会議ではプロジェクターを活用し削減効果が現れています。	引き続き、全ての会議でペーパーレスに取り組めます。
社内メール活用で紙面を削減します	○	○	社内メールの利用頻度が増加したことで効果がでています。	書類のPDF保存を推進しペーパーレス化を継続します。
水使用量の削減	○	○	計画した器具は据え付け対応しています。	節水に努め計画を継続します。
洗車ホース先端にストッパーを装着	○	○	ストッパー器具の使用により節水できました。	節水コマ等の器具使用による節水を継続します。
文房具類の購入にグリーン製品を積極的に購入します	○	○	法該当品の購入を増やしました。	その他の法該当品を調査し、購入を増やします。

(工事現場)

取組内容	2023年実績	2024年実績	評価	2025年度に取組む内容
二酸化炭素排出量の削減	○	○	2022年の計画はほぼ達成しましたが、新規取り組みについて検討が必要です。	取り組みを継続し、2023年度は未達成の項目を無くします。
重機や車両のアイドリングストップ	○	○	駐車時のアイドリングストップはほぼ達成しました。	重機のアイドリングストップに引き続き取り組みます。
重機等使用前点検で燃費の過負荷部品等を整備します	○	○	低燃費への自覚に繋がりましたが、一部職員に記入もれがあります。	全社員が記入するよう引き続き指示し確認します。
未使用機器のコンセント引抜き	○	○	コンセントからの引き抜きの徹底はほぼ達成しました。	取り組みを引き続き継続します。
機器工具の点検・整備で消費電力を低減します	△	○	作業前の点検は実施しており、不良部品の整備を実施しています。	消費電力の削減に繋げるよう取り組みを継続します。

重機の用途以外や無駄な作業禁止で燃料を削減します	○	○	重機使用作業チェックリストを活用し定期的に確認しているが不十分です。	引き続きチェックリストを活用し削減への意識を高めます。
発電機の無駄な運転を控え消費燃料を削減する	△	△	作業中、休憩時の巡回で監視しているが不十分です、実施の徹底を図ります。	引き続き指導し、作業員の意識改善を図ります。
暗室照明を蓄電池LED照明に変え燃料を削減します	○	○	蓄電池LED照明を使用する工事現場が増えてきました。	引き続き取組を継続し、蓄電池LEDの購入と運用を推進します。
安全と環境負荷の低減チェックリストを活用します	△	△	チェックリスト、取り組みはまだ不十分です	工事現場での確認・評価等に取り組み、チェックリストの活用を継続します。
廃棄物排出量の削減	○	○	廃材を再生材として現場内で利用するには検討が必要です。	取り組みは継続し、計画の達成を目指します。
現場の分別解体を徹底しリサイクル率を向上させます	○	○	分別解体を指示し作業内容を確認、再生処理施設の利用拡大を増やしました。	継続し再生利用率を高め、最終処分量を削減します。
再利用可能廃材の現場利用で最終処分量を削減します	△	○	再生資材の利用が出来ない現場がありますが、再生利用処理施設利用に努めています。	コンクリートガラ再生材の使用を増やすなど再利用により廃棄物量を減らします。
再生材の自己現場使用と他現場での利用を促進します	△	△	社内の別の現場でも再生材を利用する情報連携の手法を検討します。	引き続き、再生材・RC-40等の現場利用の情報収集に努めリサイクル率を高めます。
再生処理中間処理施設への委託処理を徹底します	○	○	処理委託契約締結時に中間処理施設の確認と施設立の定期的視察を実施しています。	適切な中間処理施設に処理委託するため確認を継続します。
水使用量の削減	○	○	上水使用量の減少を確認しました、節水の効果が徐々に表れています。	取り組みを継続します。
作業手順を調整し散水作業を減らします	△	△	散水水量の削減に適した工法選定に課題が多く不十分です。	工法、作業手順の検討と改善に努め節水を継続します。
安全と環境負荷の低減チェックリストを活用します	△	△	チェックリスト項目を策定し運用を進めていますが、取り組みは不十分です	引き続きチェックリストの活用を継続します。
散水用の水の無駄な供給を無くします	△	△	散水作業の中止時の水の供給停止を徹底していますが、不十分です。	引き続き無駄な供給の防止に努めるよう指導を徹底します。
屋根瓦の投下時でシューターを使い散水を無くします	○	○	瓦投下作業の粉じん飛散防止用散水を無くすためシューターを使用しています。	工事現場での使用が増え効果が現れています。継続に努めます。
協力業者にエコアクション21導入を要請します	×	×	協力業者にエコアクション21導入を進め環境負荷低減による経営改善を進めます。	引き続き、環境負荷低減による経営メリットを説明し、導入の意識を高めます。

(中間処分場)

取組内容	2023 年実績	2024 年実績	評価	2025 年度に取組む内容
二酸化炭素排出量の削減	○	○	2023 年の計画はほぼ達成しましたが、新規取り組みについて検討します。	取り組みを継続し、2024 年度は未達成の項目を無くします。
不要電力、照明等の消灯を徹底します	○	○	帰りには工場内の照明等の消灯の確認を徹底しています	不要な器機の稼働停止や照明の消灯など継続します。
照明や蛍光灯の LED 化を推進します	△	△	事務所内の一部照明を LED 照明に変えましたが、順次買い替えを進めます。	照明買い替え時の LED 蛍光灯への交換を推進します
処理設備の稼働時間を管理し消費電力を削減します	○	○	無駄な設備の稼働を廃止するなど管理を徹底しています。	引続き設備の稼働時間を管理し消費電力を削減します。
重機やリフト等のアイドリング停止	○	○	駐停車時のアイドリングストップはほぼ達成しました。	アイドリングストップに引き続き取り組みます。
重機の用途以外や無駄な作業を禁止し燃費削減します	○	○	重機使用作業チェックリストを活用し定期的に確認しているが不十分です。	引き続きチェックリストを活用し削減への意識を高めます。
収集運搬ルート効率化で燃費を削減します	○	○	荷物の空運転が起きないように廃車について顧客の協力をお願いしています。	顧客との連絡を密にし、運搬ルート効率化を継続します。
廃棄物排出量の削減	○	○	廃材を再生材として現場内で利用するには検討が必要です。	取り組みは継続し、計画の達成を目指します。
廃棄物の選別を徹底しリサイクル率を向上させます	○	○	ピッキング選別を徹底し、再生利用、再資源化を高めています。	継続し再生利用率を高め、最終処分量を削減します。
再生固形燃料の製造量の向上	○	○	可燃性廃棄物の固形燃料製造と活用を高める、再資源化を推進しています。	引続き固形燃料化を推進し、廃棄物の再資源化に努めます。
再生砕石の品質向上と販売量の増加	○	○	社内の別の現場でも再生材を利用する情報連携の手法を検討します。	引き続き、再生材・RC-40 等の現場利用の情報収集に努めリサイクル率を高めます。
水使用量の削減	○	○	上水使用量の減少を確認しました、節水の効果が徐々に表れています。	取り組みを継続します。
調整池の貯水を場内散水に利用し削減に努めています	○	○	降雨量の増減で利用量が変化しますが、場内散水用に利用します。	引き続き調整池の水を利用し節水に努めます。
環境コミュニケーションの実施	○	○	騒音・振動・大気等の自主測定やデータの情報公開など実施しています。	自主測定の実施、データの情報公開など継続します。
騒音・振動の自主測定を実施します	○	○	法廷検査以外に自主測定を実施し、周辺環境負荷の動向を確認しています。	引き続き自主測定を実施し環境負荷の動向を確認します。
環境測定データ等の情報公開	○	○	測定の結果データを産廃情報ネットに掲示するなど情報公開に努めています。	引き続き情報公開を継続していきます。

(8) 環境関連法規などの取りまとめ

1) 環境関連法規等の順守状況

適用される環境関連法規制の順守状況を 2025 年 4 月 1 日（土）に確認した結果、違反はありません。

2) 違反、訴訟等の有無

過去 3 年間において、関係機関からの指摘や利害関係者からの訴訟は起きていません。

環境関連法規等一覧

適用範囲	法規・条例・規制	内容または規制基準値	備考	遵守状況
産業廃棄物収集運搬及び処分業務	産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律 静岡県・静岡市産業廃棄物の適正処理に関する条例	産業廃棄物処理業委託契約	契約の締結	○
		マニフェストの期間内返却	90 日以内または 180 日以内	○
		電子マニフェストの期日内処理	伝表発行後 3 日以内の手続き	○
		マニフェストの管理	D 票、E 票の返却	○
		マニフェストの保管	5 年間の保管	○
		処理委託先の視察	年 1 回の視察立会と記録保存	○
		不法投棄の禁止	契約書や伝票管理による監視	○
		産業廃棄物処理状況の報告	6 月 30 日までに年間処理状況を報告	○
		多量排出事業者処理計画・実施状況の報告	6 月 30 日までに処理計画書を報告	○
		県外に搬入する廃棄物の適正処理	事前協議を搬入の 30 日前に申請	○
	道路運送車両法	収集運搬車両の点検記録票の保管	3 年間の保管	○
労働安全衛生法	車両建設機械、リフト等の点検記録	3 年間の保管	○	
産業廃棄物処分業務	大気汚染防止法	ばいじん、硫黄酸化物、窒素酸化物、塩素他排出量の報告	年 2 回の測定	○
	ダイオキシン類対策特別措置法	焼却施設排出基準 10ng-TEQ/m ³ 以下	年 1 回の測定	○
	騒音規制法	破碎施設基準値 55 デシベル以下	年 1 回の測定	○

	振動規制法	破碎施設 基準値 65 デシベル以下	年 1 回の測定	○
	浄化槽法	分離接触曝気浄化槽 保守点検、法令検査	3 ヶ月 1 回 条例検査年 1 回	○
解体・土木工事現場管理業務	建設リサイクル法	分別解体、再資源化	廃棄物の有効利用	○
	騒音・振動特定建設作業実施の届出 悪臭防止法	静岡県生活環境の保全 に関する条例・施行規則	作業開始 7 日前に 管轄行政環境保全 課への提出	○
				○
	大気汚染防止法	静岡県生活環境の保全 に関する条例・施行規則	地域住民に配慮し 生活環境保全に努 める	○
	下水道法			○
	土壌汚染対策法			○
	フロン排出抑制法	フロン回収と適正処理	エアコン、冷凍触 媒機器	○
	ダイオキシン類対 策特別措置法	焼却炉解体工事の適正 処理	燃えがら、ばいじ ん、洗浄水の処理	○
労働安全衛生法	工事現場での安全管理	安全書類の作成と 入場作業員の管理	○	
解体・土木工事現場管理業務	石綿障害予報規則	工事現場での適正な石 綿除去作業の確立	工事現場での適正 な石綿除去作業の 確立	○
		石綿事前調査結果報告 システムによる労働基 準監督署へ報告	解体床面積 80m ² 以 上、請負金額 100 万円以上	○
事業者全般	環境基本法	一般的な自主努力	工事現場の周辺環 境の保全等	○
	地球温暖化対策推 進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策への協 力	○
	気候変動適応法	地球温暖化に起因して 生活、社会、経済等で起 きる気候変動影響に対 し対策計画書、情報提供 等行う	作業中の熱中症発 症防止対策の計画 と実施、熱中症警 戒アラート情報に よる注意喚起等	○
	循環型社会形成推 進基本法	3R への努力	有効利用が可能な 廃棄物の利用促進	○
	グリーン購入法	リサイクル品等環境物 品の購入	建設系廃棄物の再 利用の促進	○
	消防法	火災予防と訓練	年 2 回の火災訓練 の実施	○
	フロン排出抑制 法・法改正	事務所のエアコン等指 定製品対象設備の管理 重機搭載エアコン	3 ヶ月に 1 度の点検 と記録の保管	○
3 ヶ月に 1 度の点検 と記録の保管			○	

(9) 代表者による全体の評価と見直し・指示

2025年4月1日で、系列企業の㈱三和建商リサイクルセンターとの合併から2年が経過し、中間処分業務を加え全体売上額が2年連続で32億円程度を維持している状況です。

「解体工事業」と「中間処分業」に分けて環境負荷の実績を纏め、環境経営計画の目的と実施状況を評価しました。

※ ○：継続 △：一部見直し ×：全体見直し

項目	評価	次年度の活動
① 対象範囲	○	維持、継続して活動する
② 環境経営方針	○	全社員が環境経営方針を確認し推進する
③ 環境経営目標	○	来期の結果から中期の具体的目標を見直す
④ 環境経営活動計画	○	維持、継続して活動する
⑤ 環境経営活動の取組結果と評価	○	維持、継続し活動の取組結果を評価見直す
⑥ 環境関連法規の遵守状況	○	今後も最新情報を取入れ法令遵守に努める

- 解体工事業の「購入電力」の削減では、既に本社、沼津支店、藤枝営業所の照明設備の全てをLED蛍光灯に変え対策が進んでいますが、中間処理施設の管理事務所や破碎選別工場棟の照明等の交換について2025年度の完了を目指し計画を進めてまいります。また、中間処理施設の各設備稼働時間の短縮や、電気集塵機など消費電力が大きい装置の稼働時間の短縮など「購入電力」を削減する取組みは手つかずの状況で、更なる「購入電力」の削減、コストダウンなど経営改善に繋がるものと期待できます。
- 「化石燃料の削減」では、中間処理施設内使用フォークリフトをEV車両に買い替える対策を進めるなど、施設内重機のEV車両への切り替えなど2025年度以降も継続を計画してまいります。また、処理設備の「消費電力の削減」に取組むなど、更に中間処分業の環境負荷の低減に繋がる業務改善など調査検討し実行してまいります。

見直し関連情報

項目	確認（必要に応じ評価・コメント）
① 環境目標及び目標達成状況	目標未達項目があり、今後の見直しが必要
② 環境活動計画及び取組実施状況	中間処分業の二酸化炭素排出量の削減に取組みます
③ 環境関連法規制の遵守状況	問題はないが、最新情報の社員への共有を徹底する
④ 環境活動計画とSDGsとの関連性	環境活動計画の取組をSDGsに絡めて考える

※ 2030世界の目標である、持続可能な地球環境に向けて取り組んでいる環境活動計画とSDGsとの関連性をレポートに開示し、地球環境への取組みをアピールしたいと思います。

2025年6月6日

三和建商株式会社
代表取締役社長 妻形慎也

